

第23回（2025年度）岐阜県パラスポーツ大会春大会水泳競技 兼全国障害者スポーツ大会選手選考会水泳競技 《配布資料》

（一社）岐阜県水泳連盟

*（一社）岐阜県水泳連盟新型コロナウイルス感染防止対策について（指針）を役員も確実に周知してください。

I 時間・プール入場口及び控え場所・練習について

5月11日（日） 開 場：8時30分（競技役員）

8時40分（選手・引率者）

主任会議：9時00分（プールサイド）

全体会議：9時15分 その後パート別会議

開始式：10時10分

競技開始：10時15分

競技終了：12時40分

（1）プール入場口について

プール玄関

（2）控え場所

・競技役員は2階会議室 高校生補助員は2階トレーニング室 選手は2階フロア

（3）ウォームアップ時間

9時00分～10時00分 公式スタート練習（1～4レーン） 9時40分～10時00分

障害者スポーツ協会から選手にウォーミングアップ時間等を連絡する。

II 競技運営について（通常大会と異なる点）

※この大会は休憩が多いため交代は無しです。

審判長・副審判長

- ①レース確定後2回ホイッスルを鳴らし退水を促す
- ②視覚障害の選手のブラックゴーグルのチェック

泳法審判員（3名）

- ①審判長と同じサイドに1名、反対側に2名の配置につく。
- ②障害の状況によって、平泳ぎの障害を持った足の動き、バタフライの両肩の位置など各障害のクラスのコードエクセプションを確認。
- ③この大会は、予選会を兼ねているため厳密に全国障害者スポーツ大会、国際パラ水泳連盟、国際水泳連盟の違反を取ります。特にパラの岐阜県選手は全国大会で失格を取られることが多いのできちんと指導していききたいと思います。疑問に思われましたらパラ審判資格保持者の糸井・宮本に相談してください

折返し監察員（ターンサイド4名）

- ①審判長と反対側に配置につく。
- ②障害の状況によって、平泳ぎの障害を持った足の動き、バタフライの両肩の位置など障害のクラスによってコードエクセプションを確認。
- ③この大会は、全国障害者スポーツ大会、厳密に国際パラ水泳連盟、国際水泳連盟の違反を取ります。特にパラの岐阜県選手は全国大会で失格を取られることが多いのできちんと指導していききたいと思います。

と思います。疑問に思われましたらパラ審判資格保持者の糸井・宮本に相談してください

出発合図員（2名）

聴覚障害の選手への対応

- ①Take your marks の号令と同時に、上に伸ばした手を水平まで下す。
- ②止めた後、打つ。
- ③動作が他の選手の頭で見えないことが無いように立ち位置を変えてください。
- ④台の横から、また水中スタートもOK（片手をつかませてください）。

計時員兼折返監察（4名）

- ① バケツの水の準備。背泳ぎスタートレッジの使用有無を選手に聞いて脱着。

記録員（県水連2名+高校生1名）

- (1) 総合プログラムへの記録入力。

通告員（2名）

- (1) 通常よりゆっくりとした通告を行ってください。

招集員（水連3名+補助員3名+障スポ協1名）

- (1) プールへ入場する前に点呼をし、本人であることを確認する。
- (2) レース開始の誘導前に、入場方法、その他役員からの連絡事項を伝達する。
- (3) 入場のタイミングは予め審判長と打ち合わせをして、競技進行の指示に従う。
- (4) 25m種目は招集所の最前列に脱衣カゴに衣服をかごに入れるよう指示

誘導（県水連3+補助員9）

- (1) 競技者の誘導をする。
- (2) 25m種目はかごを運ぶ
- (3) 車いす・義足などの移動

ライフガード（障スポ協1）

- (1) 必要があれば入退水の介助・キャップなどが水中に外れた時拾う

リゾリューション係（県水連1・障スポ協1）

- (1) 競技役員受付・弁当配布・手帳押印・来賓対応
- (2) 抗議への対応
- (3) 選手の受付は障害者スポーツ協会が行う

Ⅲ 競技について

- 1 （公財）日本パラ水泳連盟競泳競技規則に準じて行う。
* 競技中に発生した事柄に関する抗議については、発生後30分以内にその団体代表者が所定の抗議書に必要事項を記入の上、抗議料10,000円を添えて大会本部「審判長」へ提出する（上訴審判団は設置しない）。

Ⅳ その他

- 1 控え場所でのトラブルに関しては、団体引率者で処理を行う。
- 2 友愛プール施設内は、禁煙。
- 3 看護師は、本部室にて常駐。